I. 事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事業

（1） 洋裁指導事業

① 洋裁指導事業

実施期間	－		
実施場所	－		
対象者	－		
従事者人数	－		
助成金額	－	助成元	－
支出額	39,760 円		
事業内容	新型コロナウィルスの蔓延で昨年度（令和２年度）指導が中断したラオス・サバナケート県立職業訓練校セポン分校、及び、新たに指導の要望があったラオス国立サイソムブーン職業訓練校にて洋裁指導事業を実施すべく、令和３年度日本 NGO 連携無償資金協力を申請したが、不採択となった。しかし、ラオスでの指導事業については現地からの要望もあるので、今後も実施に向けての活動を継続していく。		
成果	－		

② 環境保全活動事業 （洋裁指導教材として活用）

実施期間	通年		
実施場所	リボーン・京都事務局（G&G ビル 5F 久保方）		
対象者	日本全国の着物保有者		
従事者人数	国内作業従事者２名		
助成金額	－	助成元	－
支出額	133,200 円（保管料）		
事業内容	不要になった古着物の寄贈を募ることで廃棄の際に輩出される CO2 を軽減し、環境問題解決に貢献する。寄贈された着物は種類別に仕分けして保管し、必要に応じて海外事業地での洋裁指導教材として活用する。		
成果	例年、会誌やホームページで呼びかけて１～２月の期間限定で古着物の寄贈を受け付けていたが、今年度は活動内容の見直しがあったため、寄贈の呼びかけを中止した。しかし、中止を知らなかった方からの寄贈も何件かあり、その方たちには着物保管料として段ボール 1 箱につき 3,000 円の寄付をお願いした。 結果、年間を通して 14 件（前年度 47 件）、合計 223 点（前年度 587 点）の着物および小物が寄贈された。 ＜2021 年度 着物寄贈状況＞ () 内は前年比較の数字 寄付者人数：14 名		

○着物	52 点 (-94)	○喪服	5 点 (-30)
○夏着物(浴衣含む)	11 点 (-18)	○喪服帯	2 点 (-9)
○羽織	24 点 (-52)	○男物	12 点 (-6)
○帯	49 点 (-84)	○子供	0 点 (-3)

	○襦袢	12点 (-15)	○その他(反物含む) 37点 (-32)
	○コート	19点 (-21)	
			合計 223点 (-364)

（2）フェアトレード事業

① ルワンダ訓練修了生有志グループとのフェアトレード事業とフォローアップトレーニング

実施期間	2021年7月		
実施場所	ルワンダ共和国キガリ市　ガチュリロ職業訓練センター		
対象者	同校洋裁科修了生5名		
従事者人数	事業従事者4名　国内作業従事者8名		
助成金額	-	助成元	-
支出額	160,567 円		
事業内容	当会の洋裁技術訓練修了者が、習得した技術を維持・向上させ安定した収入を得られるよう、洋服や小物の仕立てを注文し、完成品には適正対価を払い収入向上を図る。		
指導内容	■ パターンを送付し、製作依頼をする。完成品に仕立て代を払う。 ■ 完成作品に対して評価を行う。 ■ フォローアップ指導を行う。		
成果	キガリ市立ガチュリロ職業訓練校の修了生5名とフェアトレードを行った。新型コロナウイルス感染拡大の影響で資機材の送付が滞ることとなったため、現地での資材調達も依頼し、メールで指導や打ち合わせを行った。 送付されてきた完成作品の数は、ギテンゲと呼ばれる現地調達のアフリカンプリント地で製作されたものがイージーパンツ10点、長袖シャツ9点、アロハシャツ10点、ブルゾン5点、巻きスカート10点、ワンピース5点、エプロン10点、カフェエプロン5点、ショッピングバッグ27点の計91点、着物地の作品がパンツ5点、ブラウス5点、ロングドレス5点の計15点で、総計は106点だった。これらの作品に対しては洋裁指導責任者が最終評価を行い、適正な仕立代を支払った。		

② ラオス・サバナケート県立職業訓練校とのフェアトレード事業とフォローアップトレーニング

実施期間	2021年11月		
実施場所	ラオス国サバナケート県　県立職業訓練校洋裁科		
対象者	同校洋裁科修了生・現地教員4名		
従事者人数	事業従事者4名　国内作業従事者8名		
助成金額	-	助成元	-
支出額	139,409 円		
事業内容	当会の洋裁技術訓練修了者および現地教員が、習得した技術を維持・向上させて安定した収入を得られるよう、当会より材料を送って洋服や		

	小物の仕立てを注文し、完成品には適正対価を払って彼らの収入向上を図る。
指導内容	■ 材料を準備・送付し、製作依頼をする。完成品に仕立て代を払う。 ■ 完成作品に対して評価を行う。 ■ フォローアップ指導を行う。
成果	2007 年、外務省日本 NGO 連携無償資金協力を受け、サバナケート県立職業技術訓練校に洋裁科を設立し、2010 年 1 月まで 3 年に渡り同校で洋裁技術指導事業を実施した。その後も、訓練生らが習得した洋裁技術の維持向上のため、同校とフェアトレード形式の指導を継続している。 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、昨年度の資機材の送付が大きく遅れてしまい、出来上がった作品の日本到着も大幅に遅れたが、依頼していた作品は全て納品された。納品点数は、フード付きコート 10 点、ボレロ付ワンピース 7 点、ショートコート 10 点、ベスト 10 点、ブラウス 10 点、巻スカート 10 点の計 57 点で、洋裁指導責任者が最終評価を行い、適正な仕立代を支払った。

③ 東日本大震災被災者とのフェアトレード事業

実施期間	通年		
実施場所	宮城県仙台市		
対象者	東日本大震災の影響で京都に避難していたが、その後帰郷した被災者 1 名		
従事者人数	事業従事者 4 名		
助成金額	-	助成元	-
支出額	72,643 円		
事業内容	当会の洋裁技術訓練修了者が、習得した技術を維持・向上させ安定した収入を得られるよう、洋服や小物の仕立てを注文し、完成品には適正対価を払って彼女らの収入向上を図る。		
指導内容	材料を準備・送付し製作依頼する。完成品に仕立て代を払う。		
成果	2013 年～2015 年まで東日本大震災の影響で京都に避難していた被災者を対象とした洋裁ワークショップを実施したが、その参加者で現在は東北地方に帰郷している方 1 名に仕立てを依頼するフェアトレード形式の支援活動を行っている。 2021 年度に作成された半袖ブラウス 9 点、ワンピース 1 点はフランス・パリの KIMONOYA という店舗で販売されているが、縫製の丁寧さも評価され、納品後すぐに売れた作品も数点ある。また、お仕立ての依頼があった着物リメイクのスーツとショートコートの製作も依頼し、評価に見合った仕立て代が支払われた。		

④ バザー事業

実施期間	通年　※下記参照		
実施場所	※下記参照		
対象者	当会支援者および一般消費者		
従事者人数	事業担当者 4 名、国内作業従事者 14 名		
助成金額	-	助成元	-
収入額	1,349,462 円		

事業内容	海外の洋裁訓練生や訓練修了生が製作した洋服や小物等を、当会のアンテナショップ三田村店、チャリティ展示即売会、バザー出店、ネット販売などで販売し、市場で技術習得の成果を問う。収益は訓練生の奨励金など活動資金に充当する。洋裁責任者の中島茂代を中心に、購買層や売れ筋商品、お客様の声などを参考にした商品開発を心掛けている。
成果	今年度の販売事業も昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けた。三田村店は政府の緊急事態宣言を受け、4月中旬から6月中旬までの2カ月間、および8月中旬から9月末までの1ヶ月半、休業せざるを得なかった。開店していた期間も、来店者の数が減少して売り上げを伸ばすことができなかったが、サマーセール、クリスマスセールでは、昨年度より売上増となった。また、同じく新型コロナウイルス感染拡大の影響で、三田村店以外での販売もABCafeでのバザーのみとなった。 さらに三田村店については、家主とボランティア双方の事情で12月末より休業となったため、今後は、新たな販売方法を検討する必要がある。 売上総額：1,349,462 円（主な内訳は以下の通り）

＜主な売上内訳＞

日程	チャリティバザー		バザー以外	
12月	Ikebana International Fair 2021 ルワンダ大使館ブース	25,100円	三田村店(通期)	268,300円
3月	ABCafe チャリティーバザー	391,400円	三田村店(サマーセール)	308,720円
			三田村店（クリスマスセール)	182,140円
			瓢樹(通期)	20,950円
			その他（通期)	152,852円
			計	1,349,462円

（3）啓発及び広報事業

① 人材育成事業

実施期間	－		
実施場所	－		
対象者	－		
従事者人数	－		
助成金額	－	助成元	－
支出額	－		
事業内容	学生インターンの採用		
成果	今年度、京都大学大学院の留学生をインターンとして受け入れてほしい旨、留学生の指導教官より依頼があったが、調整に手間取ったため受入れ中止となった。しかし今後も、学生インターンの受入依頼があれば積極的に受入れて、新たな人材の育成につとめていく。		

② 広報支援事業

実施期間	通年		
実施場所	リボーン・京都 日本事務局		
対象者	当会支援者および一般市民		
従事者人数	事業担当者 4 名		
助成金額	-	助成元	-
支出額	-		
事業内容	4 月 25 日の日経新聞で、リボーン・京都のことが大きく取り上げられた。リボーンウェアの写真が一面を使って掲載されたり、リボーン・京都の活動が「始末のこころでくらす」という SDGs にも繋がるタイトルで紹介された。その記事に対する反響も大きく、読んだ方から「記事で紹介された裂織ベストがほしい。」「祖母の形見の着物で洋服を作ってほしい。」といった注文が相次いだ。 また今年度も、新型コロナウイルス感染拡大の影響で人が集まるイベント等には参加できなかったが、会誌の発行やホームページ・Facebook での広報活動は継続して行った。		

③ 啓発事業

実施期間	2021 年 4 月～2022 年 3 月		
実施場所	リボーン・京都 日本事務局他		
対象者	当会支援者および一般市民		
従事者人数	事業担当者 2 名		
助成金額	-	助成元	-
支出額	-		
事業内容	兵庫県高等学校教育研究会国際理解教育部会より、リボーン・京都の長年にわたる国際支援活動について講演してほしいとの要望があったため、小玉理事長が JICA 神戸で兵庫県の高等学校の先生方に向けての講演を行った。参加者には、国際支援活動についての理解と、リボーン・京都に関する理解を深めてもらう事ができた。		

＜主な活動一覧＞

日程	内容	主催
7/8	令和 3 年度兵庫県高等学校教育研究会国際理解教育部会第 106 回前期研究大会での講演	兵庫県高等学校教育研究会　国際理解教育部会
7/26	龍谷大学政策学部の学生 2 名が本部事務局を訪問	

④ 産学連携事業

実施期間	2021 年 12 月～2022 年 3 月		
実施場所	リボーン・京都 日本事務局他		
対象者	京都芸術デザイン専門学校生 28 名		
従事者人数	事業担当者 3 名		
助成金額	-	助成元	-

支出額	-
事業内容	京都芸術デザイン専門学校ハンドメイドコースの1年生28名にリボーン・京都が帯を提供し、学生がその帯を使って各自でデザインしてバッグを製作した。できあがったバッグは2月に開催された同校の作品展で展示され、リボーン・京都の職員による採点も行われた。その後、3月にABCafeで実施したバザーで、それらの作品を販売した。

2. その他の事業（三田村店での販売額を含む）

	2019年度	2020年度	2021年度
仕入商品売上	262,770円	37,900円	38,840円
お仕立て	45,000円	0円	185,900円
合計	307,770円	37,900円	224,740円

II. 会務報告

1. 会員状況（2022年3月31日現在）

	2019年度	2020年度	2021年度
正会員	47名	51名	30名
賛助会員	61名	58名	40名
ボランティア会員	13名	11名	16名

2. 役員状況（2022年3月31日現在）

	氏　名	常勤／非常勤	現　職　・　所　属	任　　期
理事長	宇野ひと美	非常勤	(特活)リボーン・京都 理事長	2019年7月23日～2022年5月31日
理事	小玉昌代	非常勤	(社)日本国際民間協力会 理事	2020年6月1日～2022年5月31日
理事	中島茂代	常勤	(特活)リボーン・京都 洋裁指導責任者	2020年6月1日～2022年5月31日
理事	白井幸則	非常勤	エールコーポレーション株式会社 代表取締役	2020年6月1日～2022年5月31日
監事	山元直貴	非常勤	みつわ会計事務所 代表 公認会計士	2020年6月1日～2022年5月31日

3. 職員状況（2022年3月31日現在）

理事長以外に以下の職員がおります。

	有給専従職員	有給非専従職員（インターン含む）	無給専従職員
国　内	2名	1名	0名

海　外	0名	0名	0名

4. 総会および理事会

<総会>

2021年度 通常総会

- 日時： 2021年6月15日（火）
- 場所： 認定特定非営利活動法人リボーン・京都　会議室
- 出席者： 6名
  委任状出席28名
- 審議事項： ① 2020年度　事業報告・会務報告　承認の件
  ② 2020年度　決算報告 承認の件

<理事会>

2021年度 第1回理事会

- 日時： 2021年5月28日（金）
- 場所： 認定特定非営利活動法人リボーン・京都　日本事務局
- 出席者： 理事3名
  監事1名
  委任状出席2名
- 審議事項： ① 2020年度　事業報告・会務報告　承認の件
  ② 2020年度　決算報告　承認の件
  ③ 2021年度　事業計画・予算案　承認の件
  ④ 2021年度　通常総会開催の件

2021年度第2回（臨時）理事会

- 日時： 2021年9月28日（月）
- 場所： 認定特定非営利活動法人リボーン・京都　日本事務局
- 出席者： 理事1名
  監事1名
  委任状出席2名
- 審議事項： 今後の活動について
- 報告事項： 外務省N連事業申請結果について
  財政状況について

2021年度 第3回理事会

- 日時： 2022年2月22日（火）
- 場所： 認定特定非営利活動法人リボーン・京都　日本事務局
- 出席者： 理事3名
  監事1名
  委任状出席1名
- 審議事項： 理事長の交代と今後の活動について
- 報告事項：2021年度事業状況と決算見込み

5. 会誌発行

「News！甦 vol. 37」　発行：2021 年 7 月 6 日

内容：
- コロナ禍の困難の中で感じること（小玉昌代理事長）
- 基礎を学ぶこと（洋裁専門家・中島茂代）
- ラオス洋裁指導事業の現状について（事務局・古谷富美子）
- ルワンダとのフェアトレード（洋裁専門家・星宏美）
- 日本経済新聞にリボーン・京都の記事が掲載されました
- ボランティア紹介
- サマーチャリティーセールのご案内
- チャリティバザーの売上ご報告（2020 年 12 月～2021 年 5 月）
- 第 19 期（2020 年度）活動計算書

以上

活　動　計　算　書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

認定特定非営利活動法人　リボーン・京都

（単位：円）

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
Ⅰ　経常収益			
1.受取会費			
正会員受取会費	340,000	0	340,000
賛助会員受取会費	116,000	0	116,000
2.受取寄付金			
受取寄付金	1,361,180	0	1,361,180
着物受付料	51,000	0	51,000
3.事業収益			
バザー事業収益	1,349,462	0	1,349,462
その他の事業収益	0	224,740	224,740
4.その他収益			
受取　利息	35	0	35
為替　差益	40,949	0	40,949
雑　収　益	1,849,412	0	1,849,412
経常収益　計	5,108,038	224,740	5,332,778
Ⅱ　経常費用			
1.事業費			
(1)人件費			
給料手当	731,250	81,250	812,500
通勤費	27,432	3,048	30,480
法定福利費	2,275	253	2,528
人件費計	760,957	84,551	845,508
(2)その他経費			
期首棚卸高	1,672,918	0	1,672,918
期末棚卸高	△ 2,055,980	0	△ 2,055,980
作品仕入原価	198,084	0	198,084
商品仕入原価	0	7,062	7,062
資機材購入費	82,266	410	82,676
業務委託費	43,800	30,000	73,800
販売手数料	184,666	6,486	191,152
諸　謝　金	102,010	0	102,010
印刷製本費	78,000	0	78,000
旅費交通費	94,710	0	94,710
通信運搬費	210,017	240	210,257
消耗品費	660	0	660
水道光熱費	10,111	32	10,143
賃借料	13,200	0	13,200
租税公課	2,360	0	2,360
支払手数料	25,088	440	25,528
為替差損	208,538	0	208,538
その他経費計	870,448	44,670	915,118
事業費　計	1,631,405	129,221	1,760,626

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
2. 管理費			
(1)人件費			
給料　手当	1,816,136	0	1,816,136
通　勤　費	72,720	0	72,720
法定福利費	362,393	0	362,393
人件費計	2,251,249	0	2,251,249
(2)その他経費			
会　議　費	2,657	0	2,657
旅費交通費	980	0	980
通信運搬費	247,793	0	247,793
消耗　品費	57,371	0	57,371
地代　家賃	1,333,200	0	1,333,200
接待交際費	48,733	0	48,733
保　険　料	11,080	0	11,080
諸　会　費	49,600	0	49,600
租税　公課	1,650	0	1,650
支払手数料	3,715	0	3,715
顧　問　料	506,000	0	506,000
その他経費計	2,262,779	0	2,262,779
管理費　計	4,514,028	0	4,514,028
経常費用　計	6,145,433	129,221	6,274,654
当期経常増減額	△ 1,037,395	95,519	△ 941,876
Ⅲ　経常外収益			
経常外収益　計	0	0	0
Ⅳ　経常外費用			
経常外費用　計	0	0	0
税引前当期正味財産増減額	△ 1,037,395	95,519	△ 941,876
法人税、住民税及び事業税	70,000	0	70,000
経理区分振替額	0	0	0
当期正味財産増減額	△ 1,107,395	95,519	△ 1,011,876
前期繰越正味財産額			2,082,125
次期繰越正味財産額			1,070,249

貸 借 対 照 表

2022年 3月31日 現在

認定特定非営利活動法人　リボーン・京都

（単位：円）

科目	金額		
Ⅰ　資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,164,877		
棚卸資産	2,055,980		
前払費用	211,402		
流動資産合計		3,432,259	
2. 固定資産			
(1)無形固定資産			
電話加入権	14,000		
無形固定資産　計	14,000		
(2)投資その他の資産			
敷金	250,000		
投資その他の資産　計	250,000		
固定資産合計		264,000	
資産の部　合計			3,696,259
Ⅱ　負債の部			
1. 流動負債			
未払金	19,409		
預り金	36,601		
未払法人税等	70,000		
流動負債　計		126,010	
2. 固定負債			
長期借入金	2,500,000		
固定負債　計		2,500,000	
負債の部　合計			2,626,010
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産額		2,082,125	
当期正味財産増減額		△ 1,011,876	
正味財産の部　合計		1,070,249	
負債及び正味財産合計			3,696,259

財　産　目　録

2022年 3月31日 現在

認定特定非営利活動法人　リボーン・京都

（単位：円）

科目	金額		
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現　　金			
手許現金	80,935		
普通預金			
京都中央信用金庫	629,150		
京都中央信用金庫（N連）	11		
ゆうちょ銀行	620		
ラオス現地口座（USD）	0		
郵便振替	6,000		
シティバンク　ワシントンＤＣ,アメリカ	425,577		
PayPal	22,584		
棚卸資産			
作品、商品、倉庫在庫	2,055,980		
前払費用	211,402		
流動資産合計		3,432,259	
2. 固定資産			
(1)無形固定資産			
電話加入権	14,000		
無形固定資産計	14,000		
(2)投資その他の資産			
敷　　金	250,000		
投資その他の資産計	250,000		
固定資産合計		264,000	
資産合計			3,696,259
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未　払　金			
令和4年3月分社会保険料事業主負担分	19,409		
預　り　金			
源泉所得税	10,919		
社会保険	24,593		
その他	1,089		
未払法人税等			
京都府	20,000		
京都市	50,000		
流動負債　計		126,010	
2. 固定負債			
長期借入金			
京都中央信用金庫御池支店	2,500,000		
固定負債　計		2,500,000	
負債合計			2,626,010
正味財産			1,070,249

前事業年度の年間役員名簿

令和３年４月１日から令和４年３月３１日まで

認定特定非営利活動法人 リボーン・京都

役職名	氏　名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事長	小玉　昌代	[redacted]	令和３年４月１日～令和４年２月21日	報酬無し
理事	小玉　昌代		令和４年２月22日～令和４年３月31日	報酬無し
理事	中島　茂代		令和３年４月１日～令和４年３月31日	報酬無し
理事	小野　了代		令和３年４月１日～令和３年６月14日	報酬無し
理事	田原（宇野）ひと美		令和３年４月１日～令和４年２月21日	報酬無し
理事長	田原（宇野）ひと美		令和４年２月22日～令和４年３月31日	報酬無し
理事	白井　幸則		令和３年４月１日～令和４年３月31日	報酬無し
監事	山元　直貴		令和３年４月１日～令和４年３月31日	報酬無し

（備考）

１　「氏名」，「住所又は居所」，「就任期間」及び「報酬を受けた期間」は，全ての役員について記載する。

２　「氏名」，「住所又は居所」の欄には，京都市特定非営利活動促進法施行条例第３条第２項に掲げる書面（住民票等）によって証された氏名，住所又は居所を記載する。

３　「報酬を受けた期間」の欄には，報酬を受けたことがある役員はその期間を，報酬を受けなかった役員については「報酬無し」と，それぞれ記載する。

前事業年度の社員のうち１０人以上の者の名簿

令和４年３月31日現在

認定特定非営利活動法人　リボーン・京都

氏　名	住　所　又　は　居　所
野田　俊子	[redacted]
宮田　健	
山畑　阿佳史	
吉田　美津子	
高橋　淑子	
今井　照美	
奥　裕美	
奥谷　充代	
北西　幸子	
久保　喜正	

（備考）

１　前事業年度の末日現在における社員のうち１０人以上の者の氏名及び住所又は居所を記載する。

２　１０人以上であれば社員全員を記載する必要はない。